



式分方だより

ホームページアドレス <http://hachioji-school.ed.jp/nbkte/>

令和8年2月3日

あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子

令和8年度 教育課程について

八王子市立式分方小学校

校長 清水 隆司

教育課程とは学校の教育活動の設計図のようなもので、市の教育施策を基に各学校が作成し、教育委員会に届け出る「計画書」のようなものです。八王子市は恩方地域のような山間部から、ニュータウン地区、駅周辺の市街地等、各学校が所在する地域性や強みは様々ですし、これまでその学校の取組として継続してきたこともありますから、各学校での取組も特色があります。

私たち学校職員は現在、今年度の振り返りを行い、次年度への準備を進めています。保護者、地域の皆様から7, 12月にお寄せいただいた「学校評価」も検討する上での資料となっています。現在の柱としてお伝えしますが、若干の変更、改善をしながら準備を進め、変更点は3月の保護者会、そして新年度の保護者会で学校経営方針についてお伝えします。

令和8年度の教育活動の柱（1.30案）

直面する課題からよりよい方向へ成長するため、自分や自分たちであるべき姿を設定し、責任をもって行動する能力が必要な時代である。教師、保護者、地域が手を取り合い、それぞれの役割の中で子供たちの学びの場を構築していく場が学校である。児童が自分の「みち」をあゆんでいけるよう、互いに共有された目標に向かい教育活動を展開していく。

【目指す児童像 ◎重点】「役に立つ喜びを知る子」
 ○かしこい子 ○やさしい子 ○げんきな子

ア 新たな価値を創造できる「かしこい子」になるために

- 各教科や特色ある教育活動等、教育活動全体を通して、児童一人一人の思考を尊重しながら仲間との関わりの中で学びを深める授業を行う。
- 児童一人一人の理解度や意欲を丁寧にみとり、将来新たな価値を創造へつながる知識、スキル、態度及び価値観を育んでいく。



イ 役に立つ喜びを知る「やさしい子」を育成するために

- ・ 異学年交流活動を中心とした教育活動の中で主体的につながり、つなげながら参加し、自分のよさを感じ、他者を認め、支え、励まし合う気持ちを培う。
- ・ キャリア教育で「自己理解・自己管理能力（気付く力）」、「人間関係形成・社会形成能力（伝える力）」、「課題対応能力（チャレンジする力）」、「キャリアプランニング能力（つなぐ力）」を育み、「なりたい自分」を目指すことのできる気持ちを育む。
- ・ 学校、保護者それぞれの役割の中で基本的な生活習慣を身に付け、規範意識を高めていく。

ウ 心身ともに健康で「げんきな子」を育成するため

- ・ 自他の健康に向き合い、健康で安全な生活についての理解を深め、体力の保持増進を図り、病気への理解や病気の予防、食育を推進する。
- ・ 八王子市の不登校総合対策「つながるプラン」に基づき、不登校傾向のある児童への社会的自立に向けた多様な教育機会を児童の支援ニーズに応じて組織的支援、保護者との協力連携の中で行う。
- ・ 八王子市いじめ総合対策や学校いじめ防止基本方針に基づき、学校いじめ対策委員会を中心に、いじめ総合対策等を組織的かつ効果的に実行する。

エ 小中一貫教育を充実させるために【元八王子中学校グループ（元八王子小、式分方小）】

- ・ 元八王子中学校グループとして、『社会的自立』を共通目標とし、全ての子供たちに知・徳・体をバランスよく育成することで、次代を生き抜く資質・能力を確実に身に付けさせ、義務教育九年間で育てたい児童・生徒像を以下の三点する。（三校共通）
 - ① 生涯にわたって学び続けるための基礎的な学力や自ら考え行動できる力をもった児童・生徒
 - ② 豊かな社会性や人間性、自己肯定感、自己有用間のある児童・生徒
 - ③ たくましく生きるための健康と体力がある児童・生徒

右の作品は、本校4年生女児が3年生の時、「おおるり展」に出展したものです。

タイトルは「10しゅの花と私の学校」。学校を応援してくださっている園芸ボランティアの方々（地域、保護者、会社…）がこの作品を見てとても感動され、令和7年度は学校のホームページなど対外的に学校を紹介する場面で使用させていただいています。花々に囲まれた学校の中で生活しているということが子供の作品から表現されていると感じています。

心も体も満たされる。子供を中心に関わる全ての方々にとってのウエルビーイングを目指す式分方小学校でありたいと考えています。



2月行事予定表

【月目標】 よろこんで 働く

2月の予定